

「世界」を目指す
最先端医療紹介

徳大病院が講演会

徳島大学病院が取り組んでいる先進的な研究や治療方法を幅広く知ってもらう講演会が徳島市の徳島大蔵本キャンパス大塚講堂であり、約100人が最先端医療の現状を学んだ。

西良浩一院長が基調講演し、徳島大学病院が「世界一の病院」を目指すためのビジョンと理念を語った。西良院長は米国の病院を参考にして約10年前から音楽セラピーに乗り出していることを紹介。四国で唯一、歯学部があることを強みにし手術前の口腔ケアで術後に肺炎になりにくいという裏付けが取れていることの発信も行っていると強調した。

自らの専門分野の整形外科では、腰痛の原因の85%が謎と言われている中で、説明に向けて挑んでいると説明。「スポーツ選手らに最先端の医療を行い、新しい教科書を作っていくとい

徳島大学病院のビジョンなどを語る西良院長＝徳島市の徳島大塚講堂



う自信を持っている」と語った。

脳神経内科の和泉唯信部長と安全管理部の池本哲也部長、産科婦人科の岩佐武科長の3人がそれぞれ、筋萎縮性側索硬化症(ALS)や1型糖尿病の治療、生殖医療の未来に向けた先進医療の取り組みを説明した。

講演会は優れた研究や治療を行っている医師が徳島大学病院に大勢いることを知ってもらおうと、大学支援機構と病院が20日に開いた。
(石崎義典)